

株式会社九電工

2016年（平成28年）3月期 決算説明会

2016年（平成28年）5月24日

2016年3月期 決算概要	2
決算ハイライト	3
損益計算書の概要	4
営業利益増減要因	5
受注・売上・手持工事高の状況	
1. 部門別受注・売上の状況	6
2. 得意先別受注・売上の状況	7
3. 地域別受注・売上の状況	8・9
4. 期末手持工事高の状況	10
施工実績	11
貸借対照表の概要	12
キャッシュ・フロー計算書の概要	13
設備投資の状況	14
発電事業への投資の状況	15・16
設備工事業の業容拡大に向けた投資の状況	17
配当金の推移	18

2017年3月期計画	19
2017年3月期 通期計画	20
部門別受注・売上の計画	21
配電線工事について	22
中期経営計画	23
中期経営計画 数値目標の見直し	24
数値目標見直しの背景	25
売上計画ロードマップ	26
売上計画の内訳	27
4つの重点施策	28
九電工グループについて	29
当社の概要	30
沿革	31
事業内容	32

2016年3月期 決算概要

受注高

関東・東北地区、関西地区の電気・空調衛生工事が大きく増加。

363,564百万円

前年同期比112.2%

太陽光関連工事も前期を超過
東日本や関西における大型ビルディングが好調

売上高

太陽光関連工事の着工遅れに伴う減少により前期を46億円下回る。

311,346百万円

前年同期比98.5%

太陽光関連工事以外の一般設備工事は増加

営業利益

粗利益率が大きく改善したため売上総利益段階から前年同期を大きく超過。

25,197百万円

前年同期比150.4%

受注環境の改善やコスト削減の取り組み
による粗利益率の向上

損益計算書の概要

(百万円、下段は構成比)

	2015年3月期	2016年3月期			
		実 績	前年比	修正計画 (2015.10.29)	修正計画比
売上高	315,949 (100.0%)	311,346 (100.0%)	98.5%	320,000 (100.0%)	97.3%
売上総利益	37,111 (11.7%)	45,175 (14.5%)	121.7%	45,200 (14.1%)	99.9%
営業利益	16,757 (5.3%)	25,197 (8.1%)	150.4%	25,000 (7.8%)	100.8%
経常利益	18,163 (5.7%)	27,551 (8.8%)	151.7%	27,400 (8.6%)	100.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	11,517 (3.6%)	17,901 (5.7%)	155.4%	18,000 (5.6%)	99.5%
一株当たり 当期純利益	174.54円	272.45円		273.95円	

- ・ 技術部門が主導してコストダウンを推進。
- ・ 施工途中における利益率を改善。
- ・ コストダウンのノウハウを全社に水平展開。
- ・ ノウハウを見積りにも生かし、コスト競争力を拡充。
- ・ 電気・空調衛生工事の受注が拡大、利益率が改善。
- ・ 太陽光関連工事は、売上高が減少するも利益率は改善。

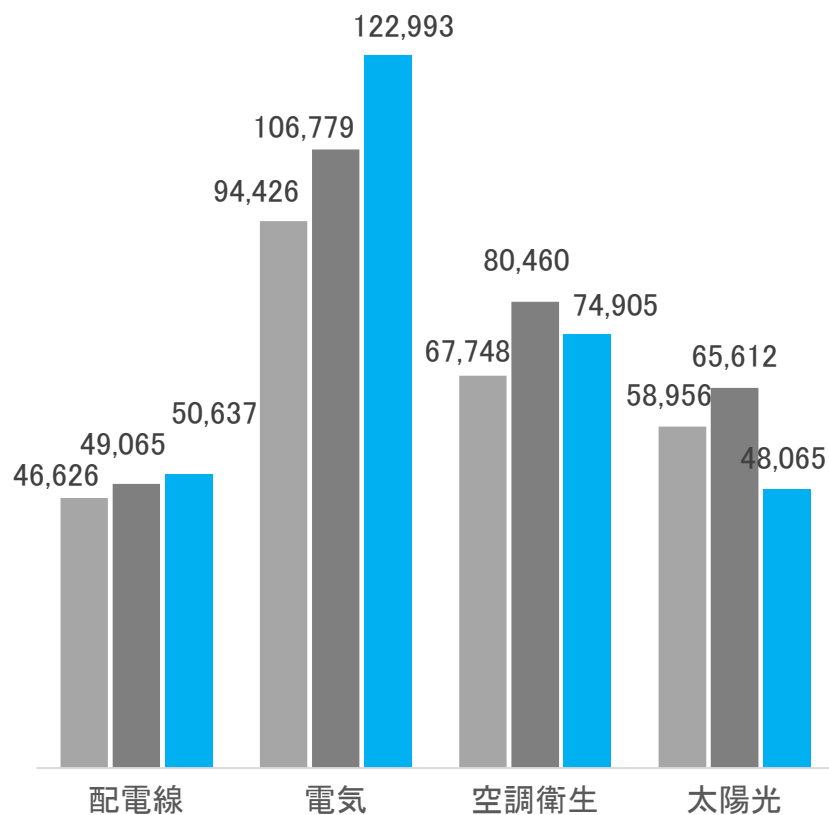
部門別受注・売上の状況 <設備工事業>

太陽光関連工事の大型化に伴い、受注は拡大する一方で売上は減少。電気工事で売上の減少を補う。

部門別売上高

(百万円)

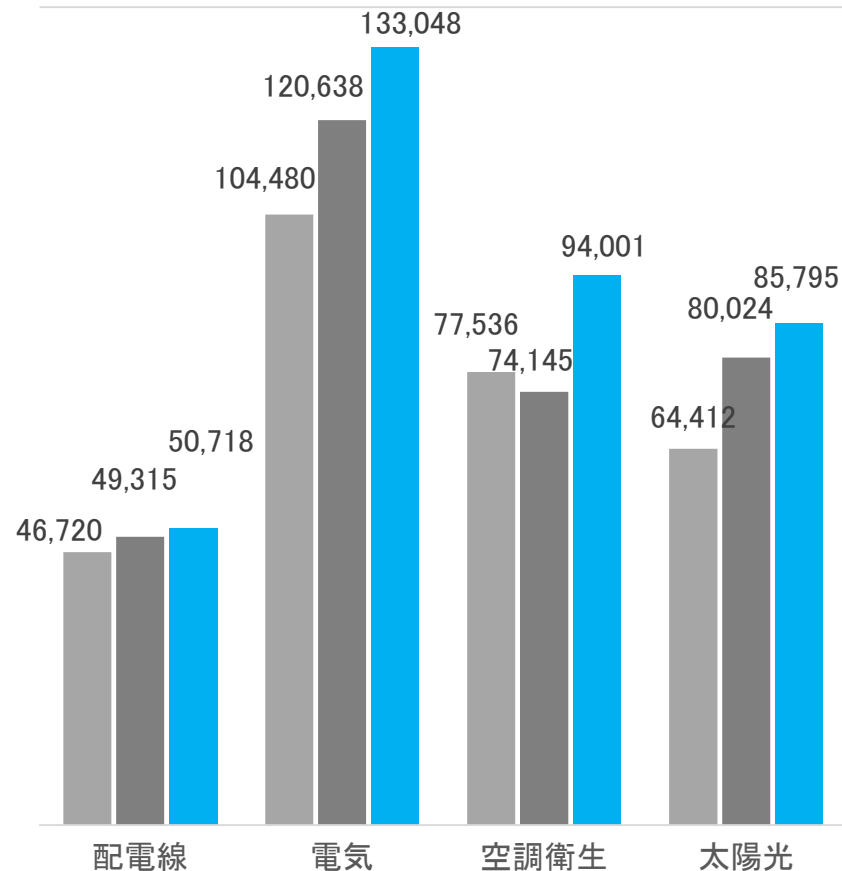
■ 2014年3月期 ■ 2015年3月期 ■ 2016年3月期



部門別受注高

(百万円)

■ 2014年3月期 ■ 2015年3月期 ■ 2016年3月期



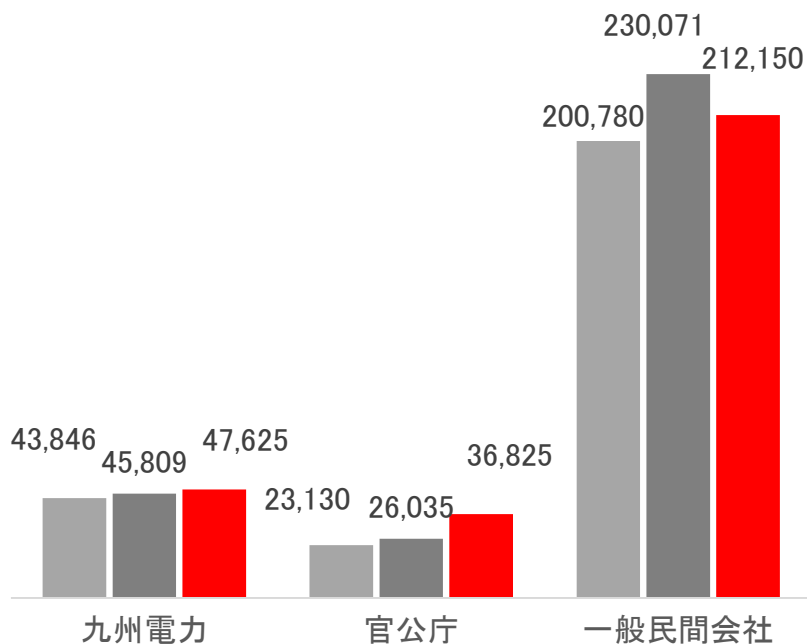
得意先別受注・売上の状況＜設備工事業＞

一般民間会社の受注は大きく増加。官公庁の受注は反動減。

得意先別売上高

(百万円)

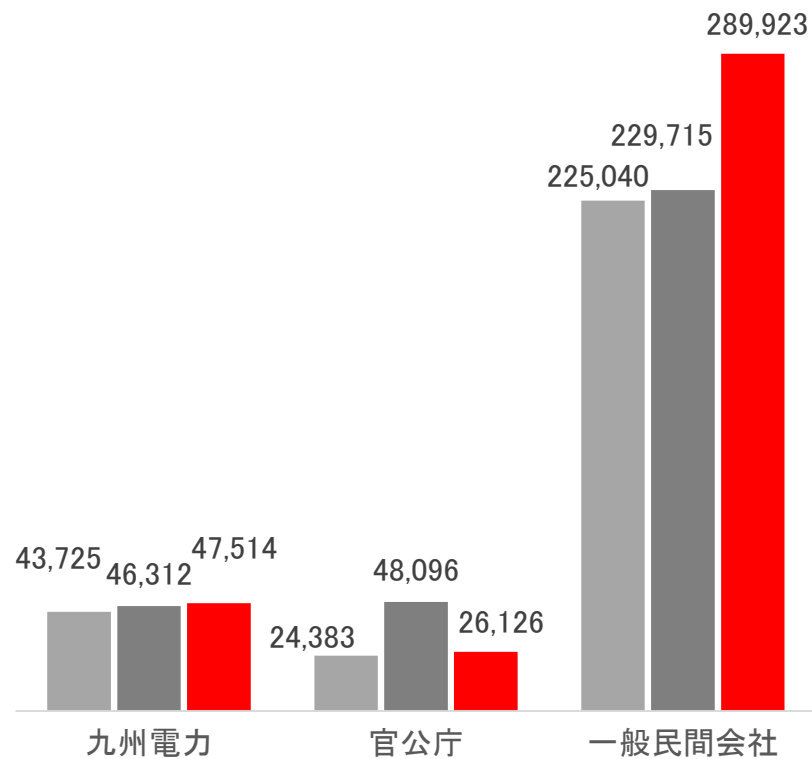
■ 2014年3月期 ■ 2015年3月期 ■ 2016年3月期



得意先別受注高

(百万円)

■ 2014年3月期 ■ 2015年3月期 ■ 2016年3月期

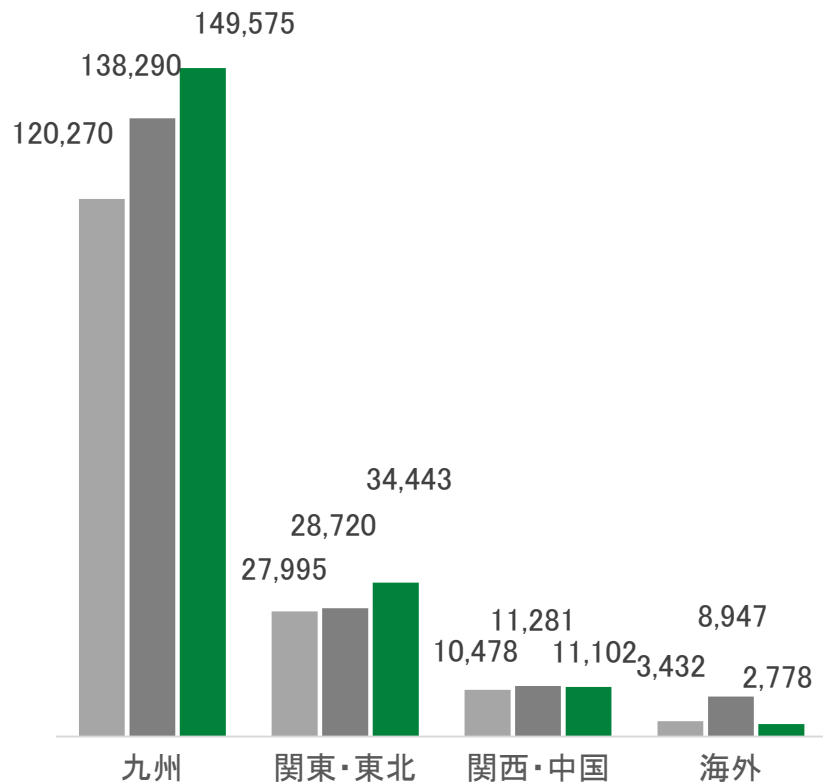


九州は堅調に推移。関東・東北地区及び関西地区は営業強化を背景に拡大。

地域別売上高

(百万円)

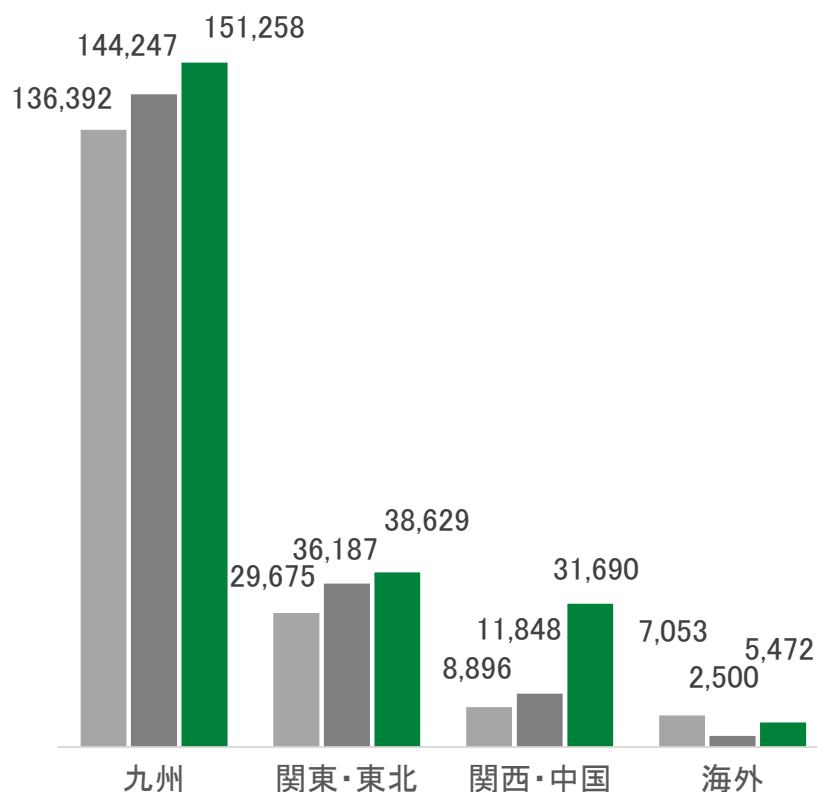
■ 2014年3月期 ■ 2015年3月期 ■ 2016年3月期



地域別受注高

(百万円)

■ 2014年3月期 ■ 2015年3月期 ■ 2016年3月期



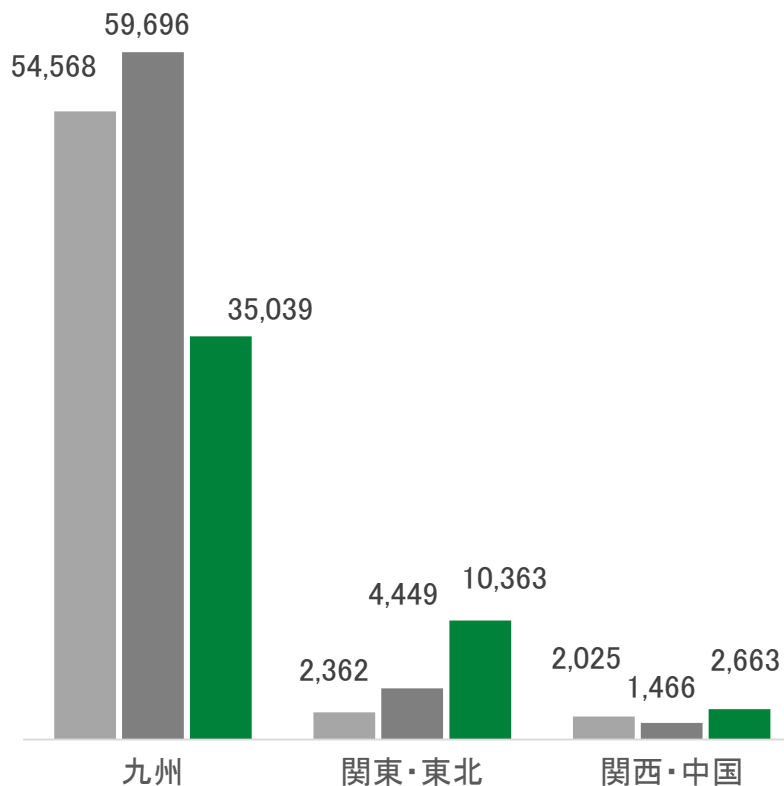
地域別受注・売上の状況＜太陽光関連工事＞

九州地区は大型案件の着工遅れにより売上高が減少。受注額は過去最高。施工エリアが拡大・大型化。

地域別売上高

(百万円)

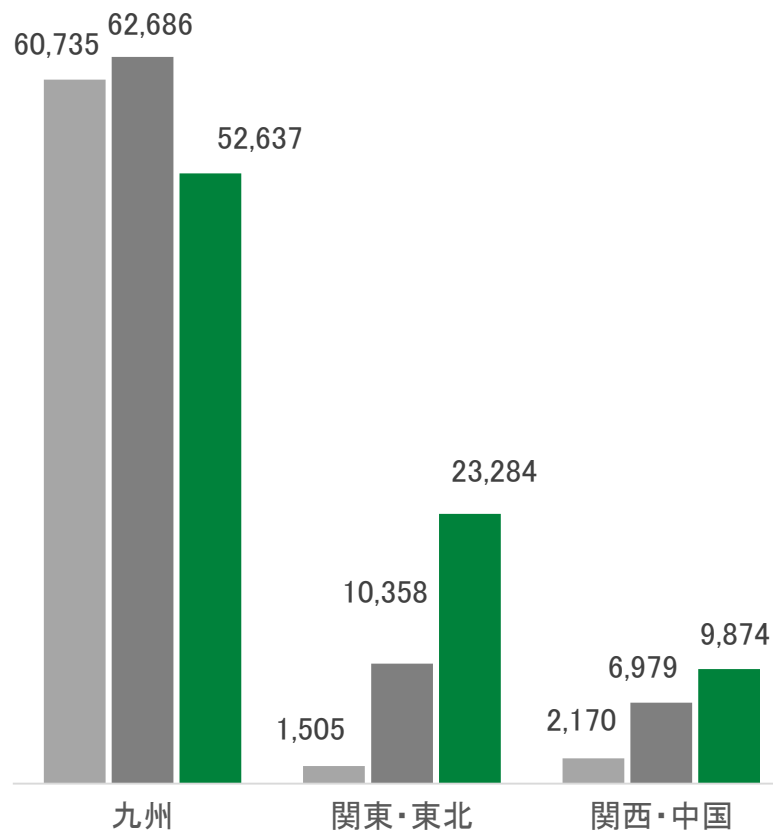
■ 2014年3月期 ■ 2015年3月期 ■ 2016年3月期



地域別受注高

(百万円)

■ 2014年3月期 ■ 2015年3月期 ■ 2016年3月期



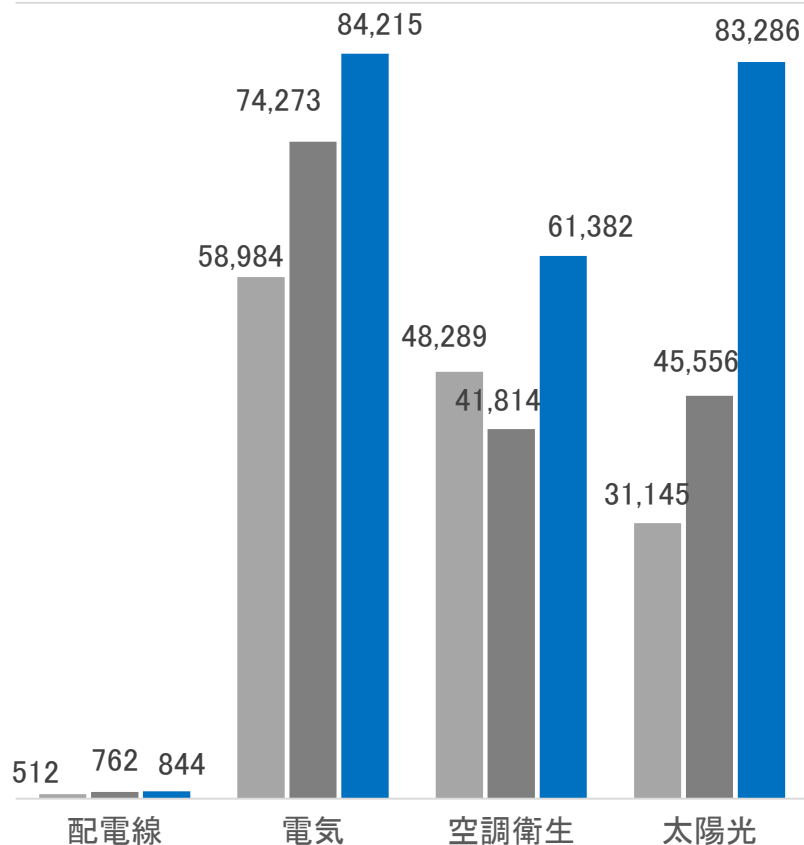
期末手持工事高の状況＜設備工事業＞

太陽光発電関連施設、首都圏の大型案件の受注が伸長し手持工事高が増加

部門別期末手持工事高

(百万円)

■ 2014年3月期 ■ 2015年3月期 ■ 2016年3月期



主な受注案件(2016年3月期末 手持工事)

- ・ 相馬市磯部地区レナトス相馬ソーラーパーク
- ・ 福島 田人メガソーラー発電所
- ・ 佐賀相知ソーラー発電所
- ・ 鹿児島湧水ソーラーパーク
- ・ KPJU東広島太陽光発電所
- ・ (仮称) 京橋一丁目ホテル計画
- ・ 日本橋室町三丁目地区第一種市街地再開発
- ・ 西武鉄道 池袋旧本社ビル建替え計画
- ・ 日本青年館 日本スポーツ振興センター本部棟
- ・ さいたま新都心ビル (仮称)
- ・ エクシブ湯河原離宮新築
- ・ ボートレース下関 ナイター照明設備設置
- ・ 福岡空港国内線旅客ターミナルビル再整備 など

2016年3月期 施工実績

- ・ グローバル認証基盤整備事業
- ・ 東京ガーデンテラス紀尾井町
(プリンスホテル赤坂跡地)
- ・ 大崎ブライトタワー
- ・ 豊洲新市場
- ・ 埼玉県小児医療センター移転・整備
- ・ 北九州市新スタジアム建設
- ・ KITTE博多
- ・ イオンモール沖縄ライカム
- ・ 大分日吉原太陽光発電所
- ・ ケン・コーポレーション
ケン那須烏山太陽光発電所
- ・ ソーラーファーム松橋発電所
- ・ 天理市ソーラーパーク
など

大崎ブライトタワー



東京ガーデンテラス紀尾井町
(プリンスホテル赤坂跡地)



KITTE博多

貸借対照表の概要

(百万円、下段は構成比)

		2015年3月末	2016年3月末	増減	主な増減要因
	流動資産	135,784 (53.3%)	135,742 (51.8%)	▲42	現金預金 ▲8,983 受取手形・未収入金 11,001
	固定資産	119,158 (46.7%)	126,298 (48.2%)	7,140	建設仮勘定 1,598 投資有価証券 2,135
	資産合計	254,942 (100.0%)	262,040 (100.0%)	7,097	
	流動負債	100,332 (39.3%)	97,045 (37.0%)	▲3,287	未成工事受入金 ▲6,292
	固定負債	49,951 (19.6%)	51,795 (19.8%)	1,844	退職給付に係る負債 3,264
	負債合計	150,284 (58.9%)	148,841 (56.8%)	▲1,442	
純資産合計		104,658 (41.1%)	113,199 (43.2%)	8,540	利益剰余金 15,636 退職給付に係る調整累計額 ▲4,264
負債純資産合計		254,942 (100.0%)	262,040 (100.0%)	7,097	

キャッシュ・フロー計算書の概要

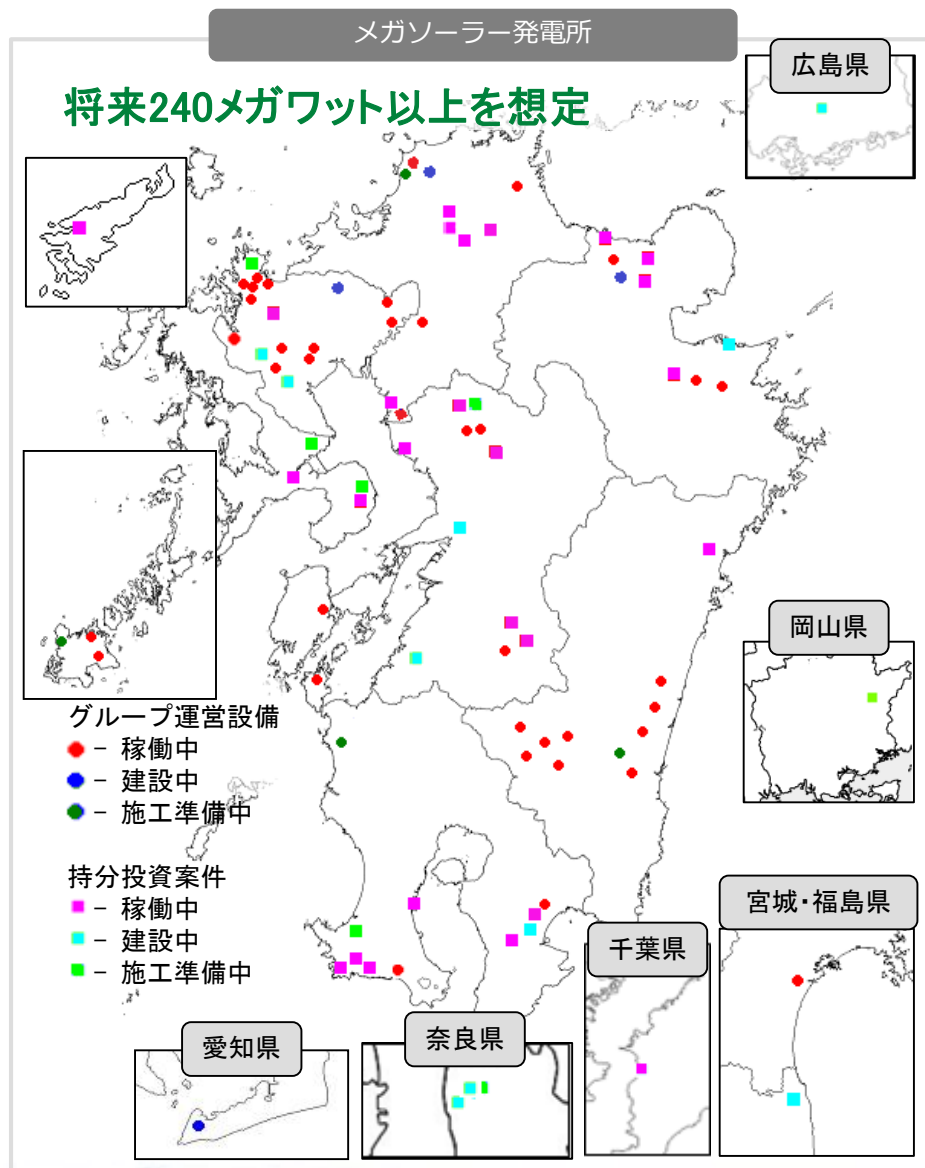
(百万円)

	2015年3月期	2016年3月期	2016年3月期の内容
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,117	10,776	税金等調整前当期純利益 27,374 売上債権の増加 ▲10,442
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲11,816	▲13,597	有形固定資産の取得 ▲6,344 投資有価証券の取得 ▲5,811
フリー・キャッシュ・フロー	7,300	▲2,820	
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,680	▲6,206	長期借入金の返済 ▲2,767 配当金の支払 ▲2,295
現金及び現金同等物の増減額	14,263	▲9,198	
現金及び現金同等物の期首残高	21,668	35,931	
現金及び現金同等物の期末残高	35,931	26,732	

設備投資の状況

	2015年3月期	2016年3月期
設備投資額	76億円	61億円
設備工事業	24億円	23億円
	九電工営業所建替 工事用機械工具類 工事用特殊車両リース契約	九電工寮設備建替 工事用機械工具類 工事用特殊車両リース契約
その他の事業	51億円	37億円
	太陽光発電設備 (47億円)	太陽光発電設備 (37億円)
減価償却実施額	52億円	54億円

発電事業への投資の状況

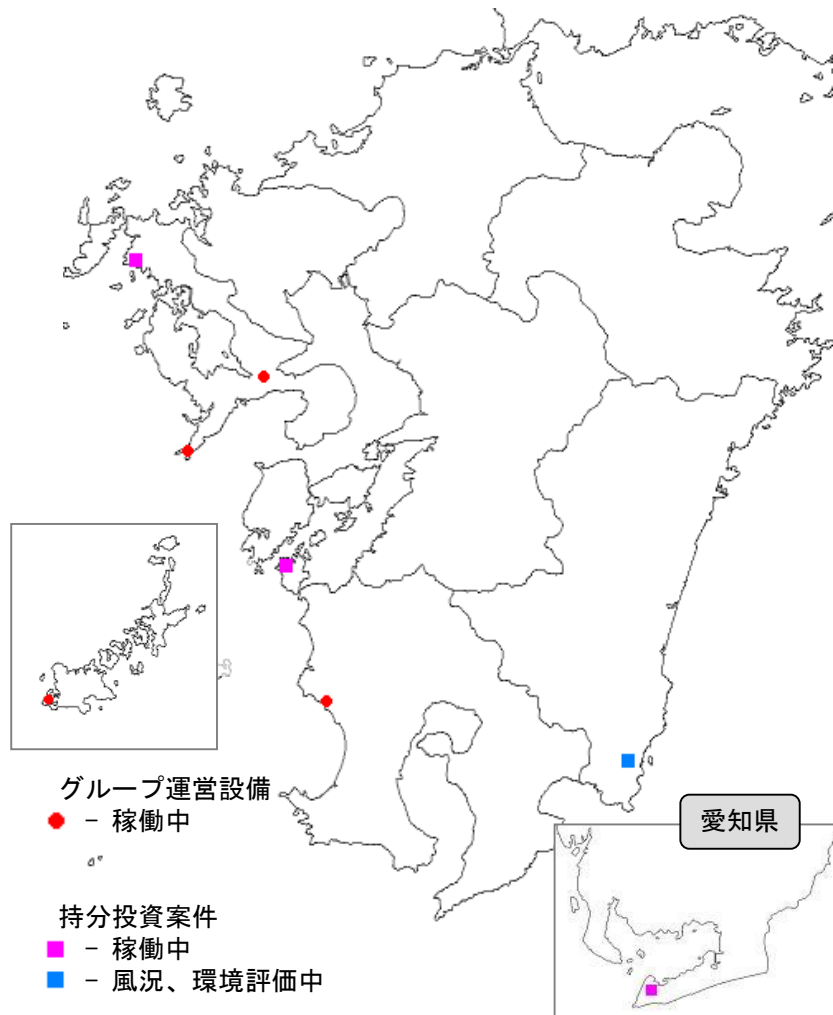


	発電所数	発電容量 (事業全体)	発電容量 (持分相当)
稼働	70	248MW	100MW
建設中	15	315MW	111MW
計画	10	95MW	35MW
合計	95	658MW	246MW

発電事業への投資の状況

風力発電所

将来80メガワット以上を想定



	発電所数	発電容量 (事業全体)	発電容量 (持分相当)
稼働	8	111MW	53MW
建設中	-	-	-
計画	1	65MW	32MW
合計	9	176MW	85MW

新たにグループに加わった設備工事会社

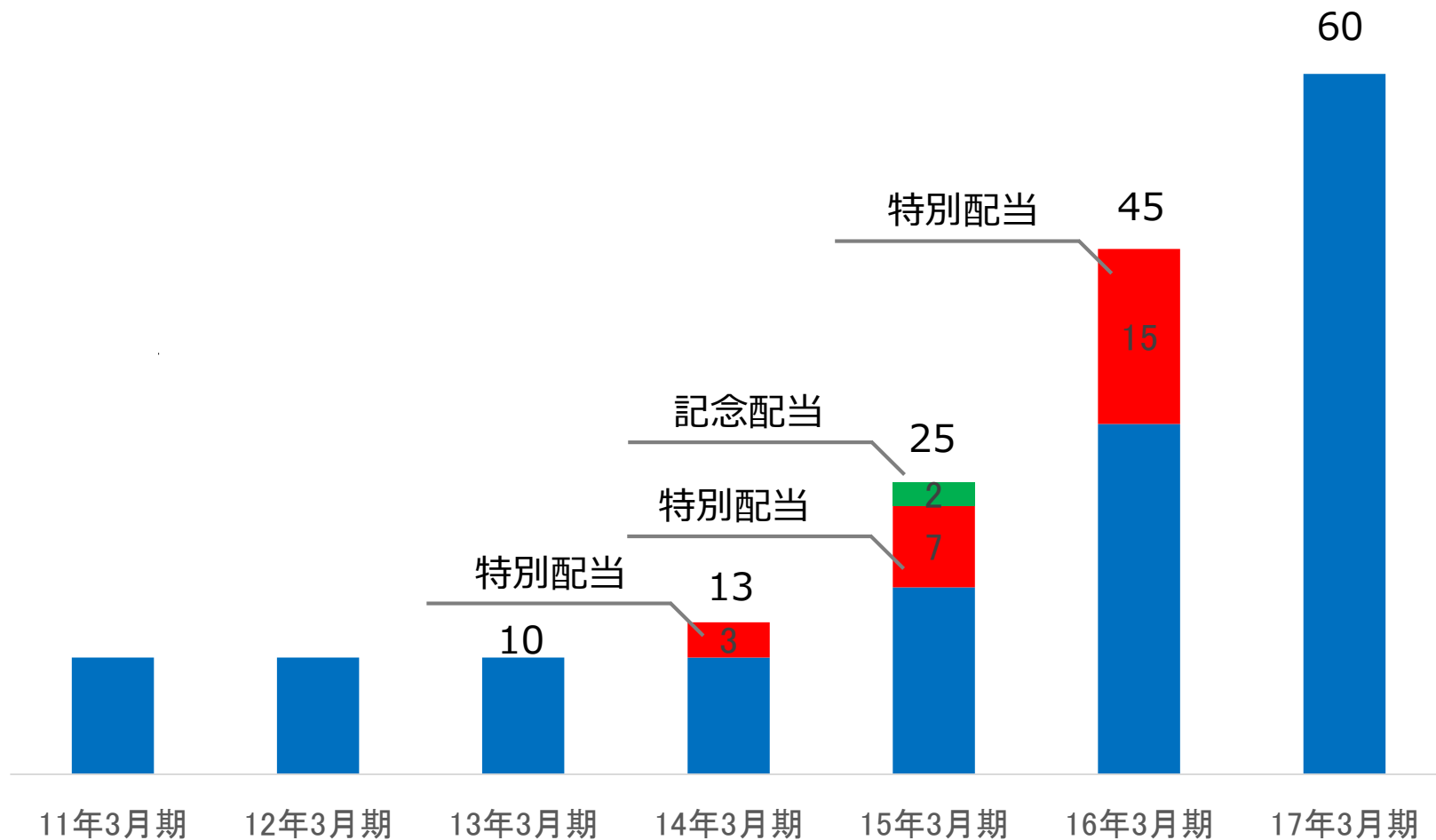
グループ参加：2014年 4月
会 社 名：小寺電業(株)
住 所：大阪市北区
事 業 内 容：電気設備工事
売 上 規 模：約 8 億円
従 業 員 数：46 名

グループ参加：2015年 4月
会 社 名：河内工業(株)
住 所：大阪市鶴見区
事 業 内 容：空調給排水工事
売 上 規 模：約 11 億円
従 業 員 数：17 名

グループ参加：2014年10月
会 社 名：隔測計装(株)
住 所：福岡市南区
事 業 内 容：水処理関連
電気計装工事
売 上 規 模：約 18 億円
従 業 員 数：47 名

グループ参加：2015年10月
会 社 名：(株)昭永電設
住 所：千葉市稲毛区
事 業 内 容：電気設備工事
売 上 規 模：約 8 億円
従 業 員 数：19 名

業績の拡大を受け、2014年3月期から4期連続増配を計画。



2017年3月期計画

2017年3月期 通期計画

(百万円、下段は構成比)

	2016年3月期 実績	2017年3月期 計画			
		2Q累計	前同期比	通 期	前年比
売上高	311,346 (100.0%)	141,000 (100.0%)	101.0%	340,000 (100.0%)	109.2%
売上総利益	45,175 (14.5%)	19,700 (14.0%)	97.6%	50,000 (14.7%)	110.7%
営業利益	25,197 (8.1%)	9,000 (6.4%)	90.0%	29,000 (8.5%)	115.1%
経常利益	27,551 (8.8%)	10,100 (7.2%)	88.9%	31,200 (9.2%)	113.2%
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	17,901 (5.7%)	6,800 (4.8%)	90.7%	21,000 (6.2%)	117.3%
一株当たり当期純利益	272.45円	103.58円		319.89円	
配当金	45円 中間20円、期末25円	60円 中間30円、期末30円			

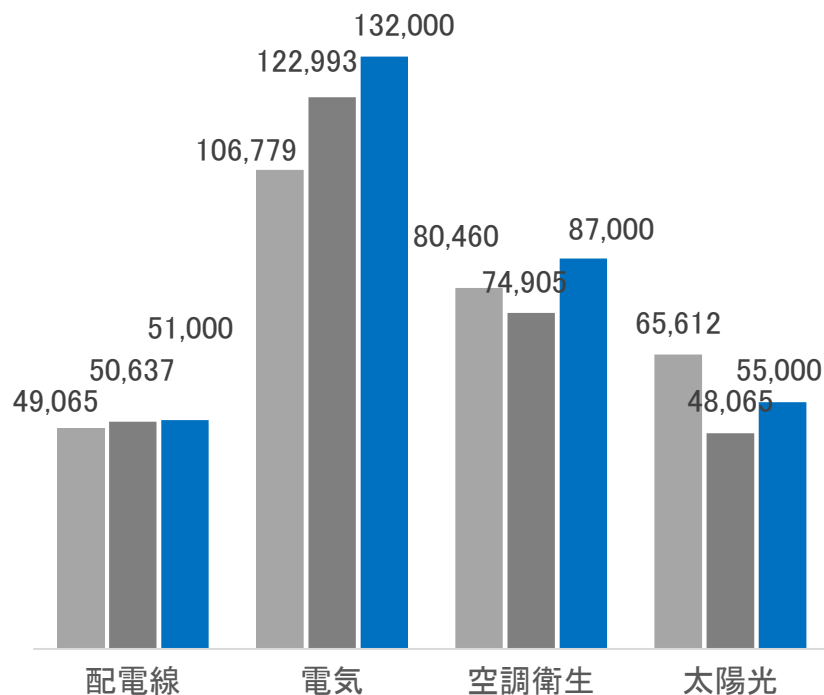
部門別受注・売上の計画 <設備工事業>

太陽光関連工事の受注は漸減を予想するも、潤沢な手持工事高により売上高は大きく拡大。

部門別売上高

(百万円)

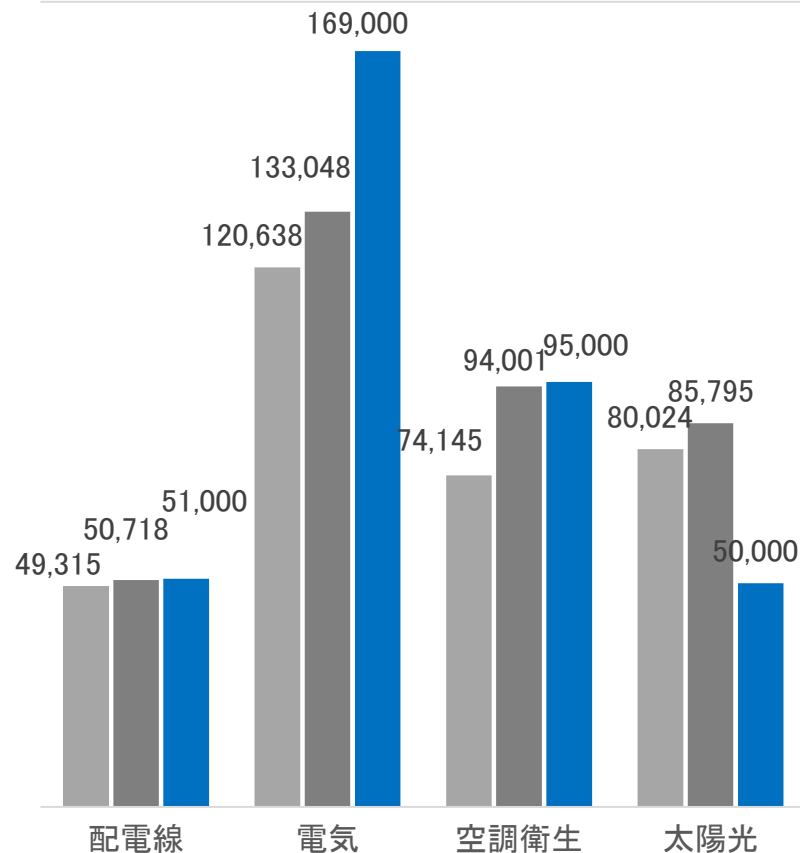
■ 2015年3月期 ■ 2016年3月期 ■ 2017年3月期 (計画)



部門別受注高

(百万円)

■ 2015年3月期 ■ 2016年3月期 ■ 2017年3月期 (計画)



足元の状況

- 川内原子力発電所が再稼動し、
玄海の再稼動準備が進められている。
工事量の緩やかな回復に期待。



課題と取り組み

- 当社の技術開発や効率化によるコスト削減が重要であり、
電力システム改革に向けて、透明性の高いコスト競争力で収益の向上に繋げる。
- 配電網の維持、ピーク時にも対応できる要員の確保、緊急事態への対応等に
必要な投資に伴う、資本コストに見合った適正な利益率を追求する。

中期経営計画

《 メインテーマ 》

■ 中期経営計画

さらなる飛躍への挑戦 ～新しい成長のステージへ～

《 2020年3月期の数値目標（連結） 》

	(参考) 当初計画[2015.02]		今回見直し後計画	(参考) 2016年3月期実績
売 上 高	3,500 億円	⇒	4,000 億円	3,113 億円
売上総利益率	12.0 %	⇒	15.0 %以上	14.5 %
営業利益率	6.0 %	⇒	9.0 %以上	8.1 %
R O E (自己資本当期純利益率)	10.0 %	⇒	14.0 %以上	16.7 %

見直しのポイント 1 . . . 太陽光関連工事の需要見直し

- 2016年3月末における仕掛工事や2017年3月期に想定される受注案件を勘案すれば、今後も 一定の再生可能エネルギー関連工事需要は継続。

見直しのポイント 2 . . . 利益率の見直し

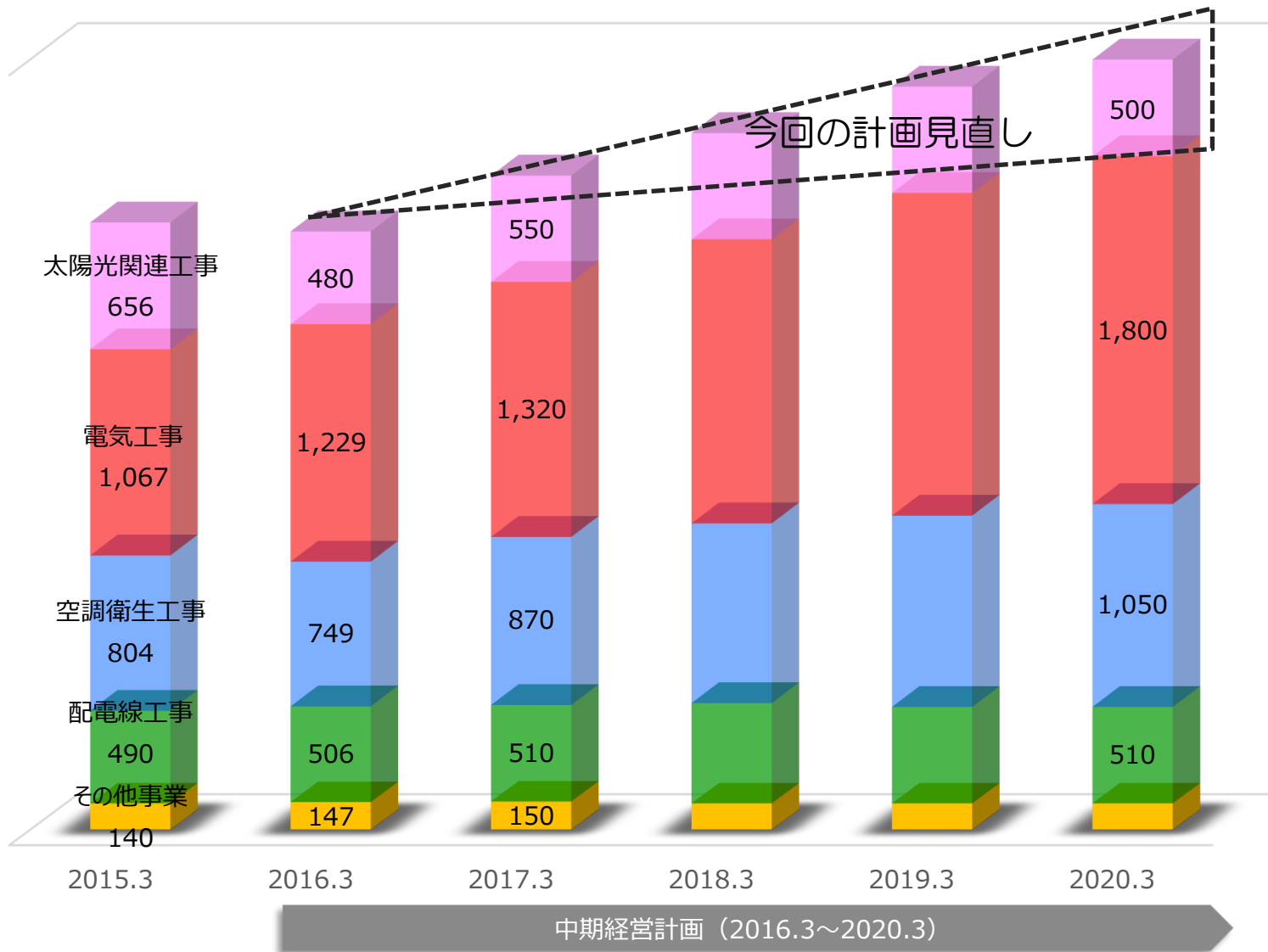
- 長期に及んだ建設業界における過度の価格競争が緩和され、市場環境が改善。技術力と動員力をもち、高い品質を提供できる企業は、現在の工事採算性を維持可能。

電気・空調衛生工事に従事する技術者・技能者の採用を拡大

< 採用計画の見直し >

当初：5ヵ年累計 1,000名 ⇒ 見直し後：5ヵ年累計 1,335名

売上計画ロードマップ



売上計画の内訳 (2020年3月期)

売上高の合計 **4,000** 億円

事業別の内訳

太陽光関連工事 **500** 億円

電気・空調衛生工事 **2,850** 億円

配電線工事 **510** 億円

その他 **140** 億円

電気・空調衛生工事のエリア別内訳

九州 **1,720** 億円

東京 **725** 億円

関西・沖縄 **230** 億円

海外 **175** 億円

内、リニューアル工事 **1,300** 億円

「九州における安定的な基盤確立」
「首都圏事業の強化」
「人財の育成」

■ 中期経営計画（16年3月期～20年3月期：5カ年計画）では、営業力、技術力、現場力、そして成長力に一層磨きをかけて、たとえ経営環境が変化しても、熾烈な競争を勝ち抜くことができるグループの総合力向上に取り組み、さらなる飛躍を目指す。

- 1 お客様の信頼と期待に応える「**営業力**」の追求
- 2 競争に打ち勝つ「**技術力**」の進化
- 3 収益を生み出す「**現場力**」の向上
- 4 未来へ飛躍する「**成長力**」の強化



九電エグループについて

社名	株式会社九電工		
設立	1944年（昭和19年）12月1日		
資本金	79億188万円		
上場市場：コード	東京証券取引所第1部、福岡証券取引所	1959	
本社	福岡市南区那の川一丁目23番35号		
東京本社	東京都豊島区東池袋三丁目1番1号 サンシャイン60		
拠点	本社、東京本社、国内10支店、118営業所・支社 / 海外5拠点		
建設業認可	国土交通大臣許可（特24）第1659号		
従業員数 （2016年3月末現在）	連結8,976名（内出向者86名）[単体5,912名（内出向者187名）]		

1944年(S19)	電気工事業整備要綱に基づき、九州の主要電気工事業者13社が統合し、「九州電気工事株式会社」を設立
1945年(S20)	東京支社（現、東京本社）設置
1947年(S22)	九州配電株式会社（現、九州電力株式会社）と配電工事委託契約を締結
1953年(S28)	建設工事部門（発電・変電・送電）を分離し、九州電気建設工事株式会社（現、株式会社九建）を設立
1964年(S39)	空気調和・冷暖房・管工事の営業開始
1965年(S40)	大阪支社（現、関西支店）設置
1971年(S46)	水処理工事の営業開始
1972年(S47)	東京証券取引所第一部へ指定替え上場（資本金11億円）
1979年(S54)	本社業務部に海外事業課を設置（海外事業スタート）
1981年(S56)	公共下水道工事の営業開始
1984年(S59)	ブルネイ営業所設置（平成3年10月廃止）
1985年(S60)	九連環境開発股份有限公司（台北市）を設立
1987年(S62)	第1回無担保転換社債100億円発行
1989年(H 1)	株式会社九電工に商号変更
1996年(H 8)	シンガポール駐在員事務所設置（平成12年7月閉鎖）インドネシア駐在員事務所設置（平成11年10月閉鎖）
2002年(H14)	選択定年制度特別措置を実施（応募者数 407名）
2008年(H20)	東京本社設置
2012年(H24)	リース事業を廃止
2012年(H24)	東北支社を新設
2012年(H24)	マレーシアに現地法人（マレーシア九電工）を設立
2012年(H24)	ベトナムに現地法人（ベトナム九電工）を設立
2013年(H25)	タイに合併会社（九電工・オーシス・タイランド）を設立
2013年(H25)	シンガポール A P E C O社を買収
2015年(H27)	第2回無担保転換社債100億円発行

九電工グループ

設備工事業

- ・ 配電線工事施工
- ・ 屋内配線、電気通信等の電気工事施工
- ・ 空気調和、冷暖房、給排水衛生、水処理等の空調管工事施工
- ・ 設計、積算
- ・ 設備保守、管理

その他の事業

- ・ 材料、器機販売
- ・ 再生エネルギー発電
- ・ 不動産開発、管理
- ・ ソフト開発
- ・ 水質、空気等環境検査
- ・ その他

得意先

九州電力株式会社
(売上高の約16%)

その他の得意先
(売上高の約84%)

株式会社九電工

[連絡先] 株式会社九電工 経理部
[住所] 福岡市南区那の川1-23-35
[TEL] 092-523-1239
[FAX] 092-524-3269

このプレゼンテーション資料には、現時点の将来に関する前提・見通しに基づく予測が含まれております。実際の業績は、その時々状況や多様な要因により変更を余儀なくされることがあります。なお、変更があった場合でも当社は本資料を改定する義務を負いかねますので、ご了承ください。

また、本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社九電工に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。